名古屋YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.777 2022

YMCA News 6

2022年6月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村　隆
●編集人 坂本清則

ひろがれ！　YMCAの輪

ワイズメンズクラブ西日本区中部部長（名古屋ワイズメンズクラブ）**渡辺 真悟**

160名もの参加者を得て交流会を開催

4月23日の土曜日に名古屋市の西端にある「名古屋市戸田川緑地公園」で、今までにない新しい行事として「YMCA・ワイズフェスティバル、ディキャンプ交流会」を開催しました。当日は幸い好天に恵まれ　準備に携わった方の熱意と周到な準備もあって、目標を大きく上回る約160名ものYMCAに繋がる様々な方の参加を得て、大盛況の内に終えることができました。当日参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

当日は朝から若いスタッフとリーダー達が沢山の資材運搬と会場設営で頑張り、リーダートレーニングを兼ねた焚火調理は確実に彼らのスキルアップに繋がりました。薪割りなどのかまどの準備と食材の調理には、ちびっ子もリーダーOBOGもワイズのご友人にもお手伝いしていただきました。出来上がった沢山の料理は晴天の下、心地よい風を感じながらみんなで美味くいただくことが出来ました。

食事の後はゲーム大会と生演奏付キャンプソングの大合唱でおお盛り上がりでした。YMCAとユースリーダーとワイズメンズクラブのいわゆる“YYY協働”によるこの交流会を今後も継続し、YMCA活動の一層のサポートやワイズの会員増強に繋げて行きたいと思っています。

明るく楽しいイベントで仲間を増やそう

なぜ今回このような会を催すことに成ったかと言いますと、コロナの影響で昨年9月に日和田キャンプ場で開催予定でしたワイズメンズクラブの中部部会&YYYフォーラムが中止になってしまい、その代わりに何か良い行事が出来ないかと考えていました。一方ワイズメンズクラブは最近会員数の減少が大きな問題ですが、その対策として会員増強を考えるシンポジウムみたいな堅い企画が多く、もっと明るく楽しく参加しやすいイベントが出来ないものかとも思っていました。そしてワイズメンズクラブのことをもっと知っていただきたいと思っていました。

そこで企画しましたのが「YMCA・ワイズフェスティバル、ディキャンプ交流会」です。名古屋YMCAとワイズメンズクラブで相談する中で狙いとしましたのは、

◎リーダーOB・OGが卒業後もYMCAと繋がっていける場を提供する。
◎現役リーダーのセミリーダートレーニングの機会となるようにする。
◎美味しい食事+楽しいイベントで参加者が楽しめてボランティア活動の楽しさを知ってもらう。
◎YMCAやワイズに何か縁のある人が、楽しみながら参加してもらうことでYMCAやワイズの良さを知ってもらう。

ということです。

私たちは一緒にYMCAをサポートする仲間を募集しています。ワイズメンズクラブは　キャンプやチャリティーイベントへの参加など、YMCAを通じた奉仕活動や、地域社会への奉仕活動を行っています。まずは例会など様々な親睦の機会があり、仲間としての関係が奉仕活動へ向かう活力になります。またクラブの枠を超えて、国内外のワイズメンとの交流も活発です。自分の世界を広げてみませんか。

報　告

リーダートレーニングに参加して

ユースリーダー　今村 舞雪(こっこリーダー)

明日の指導者は今日つくられる

ゴールデンウィーク中の5月3日から5月5日にかけて、岐阜県高山市にある名古屋YMCA日和田高原キャンプ場で、毎年恒例の「日和田リーダートレーニング」が行なわれました。参加したユースリーダーは24名、そして彼らをサポートするワイズメンやスタッフを加えた総勢45名が一つになって、有意義なトレーニングを行なうことができました。

今年のリーダートレーニングは、昨年とは違う思いで参加しました。新しい環境で特に感じたことを2つ書きます。

1つ目に、個人の成長です。3日目の昼食は、3・4年生はかまどから自分で作ります。昨年、なかなか火がつかず苦労する姿も見ていたので、私たちにできるのか不安でした。そこで、3日目までに先輩からかまどの作り方を学んだり、キャンプファイヤーの残り火で火を保つ練習をしたりしました。いざ本番、苦戦しながら、近くの仲間と助け合いながらなんとか親子丼を作ることができました。頑張りと達成感でより美味しく感じました。野外活動や来年のリーダートレーニングで、子どもや後輩リーダーに背中を見せられるようにそれぞれがパワーアップしたように感じます。

2つ目に、仲間と同じ思いを共有する良さです。今回のトレーニングは、3分の1のリーダーが初めての日和田でした。そのため、その他のリーダーは新しいリーダーに日和田をたくさん知ってもらおうという気持ちで接しました。1日目の夜に行ったリーダー会では、グループ対抗のゲームや『第1回日和田芸術鑑賞会』という創作劇を発表して盛り上がり、新しい仲間とも絆を深めることができました。また2日目以降

もグループ分けに関係なくひろく交流し、互いに「一緒に楽しもう」という気持ちを共有しました。3日間を通して「どんな人だろう？」から「最高の人！」と相手のイメージが変わったのは、私だけではないはずです。

今回のリーダートレーニングではただ楽しむだけではなく、成長を実感し、仲間と思いを共有する素晴らしさを再認識しました。これからは、子どもにもそれを伝えられるようなリーダー活動をしたいです。

プログラム

今年もやります！学童キャンプ!!

「キラキラした思い出をありがとうございました！」昨年の夏に参加した子どものお母さんからいただいた言葉です。学童キャンプを体験した子どもさんの表情や、家に帰ってからキャンプでの思い出話を聞かれたお母さんの思いが伝わってきました。学童キャンプでは、様々な環境にいる子どもたちが集まり、日和田高原の豊かな自然の中で6日間を過ごします。住んでいるところ、環境、年齢など、異なる価値観や考え方の人が集まります。その中で、うまくいかなくてもどかしい思いをしたり、一緒に参加した仲間とケンカしてしまうこともありますが、最後には「また会いたい！」と思える仲間を作り、「はじめて見た！」と感動したきれいな自然や生き物に出会い、「楽しかった！」と振り返るたくさんの思い出で心いっぱいにして名古屋へ帰ります。たくさんの仲間と過ごした楽しい思い出は将来の希望や夢に繋がります。また、6日間も家族から離れて過ごせたことは生きる自信をつけてくれます。そして、様々な価値観に触れ合うことで、「お互いを認め合える心」を育ててくれると考えています。

今年も子どもたちのキラキラした笑顔があふれるキャンプを作っていきます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

(遠藤 恵美子)

期　　間	1期　2022年7月25日(月)～7月30日(土) 2期　2022年8月1日(月)～8月6日(土)
募集しています!!	
寄 付 金	子どもたちの参加費減免制度に利用させていただきます
食材提供	米、野菜、肉などの食材を募集しています
ボランティア	期間中のキッチン、学習支援など

問い合せ：名古屋YMCA本館　遠藤まで

寄　稿

国際協力募金に思う

2022年度国際協力募金実行委員長
（名古屋グランパスワイズメンズクラブ）　松原 行謙

7年前に、ワイズメンズクラブのプログラムを通してロシアから当時15歳のマトベェイ君が我が家にホームスティに来た。とても気さくな青年で、日和田にも一緒に行き多くの体験を共にした。本館でのワイズとの交流会では、わがクラブの友人で、日本で教鞭をとるウクライナのタチアナさんに通訳をしていただいたことを思い出す‥。今のロシアとウクライナの紛争がやるせない。

その後ワイズメンであるマトベェイ君のお母さんと連絡を取り合い、ワイズメンズクラブのヨーロッパ大会の誘いを受けた。大会はマトベェイ君家族の住むエカテリンブルグで行われ、19歳の大学生になったマトベェイ君と再会した。家族とロシア風サウナやバレイ観賞を楽しんだ。家族の温かいもてなしは忘れられない。マトベェイ君元気かなぁ？少し気掛かりではある。

大会にはヨーロッパ各地から参加者が集い有意義な時を共にした。もちろんウクライナのワイズメンも参加メンバーの一翼であった。ひと月間のロシア訪問でエカテリンブルグだけではなく、サンクトペテルブルク、モスクワなど、ロシア中のワイズメンにお世話になり懇意になった。我々は共に一つになり豊かな時を過ごした。仲良くなったサンクトペテルブルクとモスクワのクラブとはIBCすなわち国際兄弟クラブの契りを交わし、現在に至っている。早く直に交流の場が持てる日が待ち遠しい。

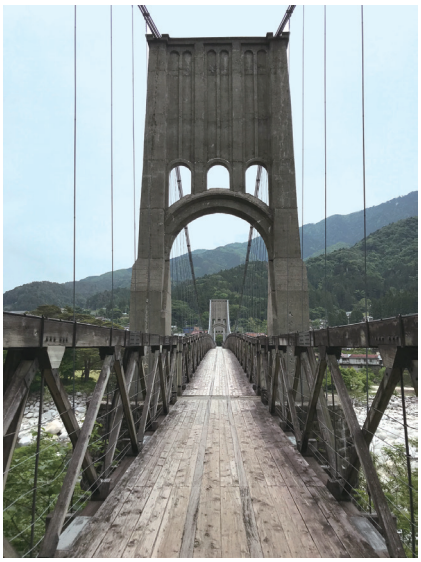
YMCAの募金活動は、募金を呼び掛ける参加者自身が、世界のさまざまな問題を身近な問題として考えることも目的としています。できる限り正しく世界を見る目を養うための見識と行動を大切にしたいものです。

エカテリンブルグにて　マトベェイくん、お母さんと

総主事コラム

寄り道の勧め

日和田高原キャンプ場に行くには、中央道中津川インターから木曽川沿いに国道19号線を木曽福島まで北上します。キャンプ場に行くたびに走り慣れた道ですが、実は今まで途中の名勝地に立ち寄ったことがありませんでした。道中の南木曾には、「桃介橋」という木橋があります。何度も橋の下を走っていたのに、今まで気づかなかったことが不思議なくらい見事な木橋。1922年に完成したこの橋は破損・老朽化のために1978年以降使用されていませんでしたが、1993年に南木曾町ふるさと創生事業として復元され、重要文化財に指定されています。木造吊橋なので渡るとギシギシと揺れ、足元からは川面が覗きます。途中の橋脚には河川敷に降りる石階段が設けられ、河川敷に降りると大きな岩が木曽川の激流に揉まれ、角が削られ丸くなり、岩と岩が見事に重なり合ってビクともしません。岩の上を飛び歩き、川の水に手を浸けると、木曽川の清流は心まで浄化してくれます。そこからさらに北上すると、中山道38番目の宿場であった上松宿があり、浦島太郎伝説がある「寝覚ノ床」という名勝があります。JR中央線からの車窓でも楽しむことができますが、駐車場に車を停め、中央線の真下を潜り、石段を下りていくと亀の形をした巨岩と正方形に切り立った断崖が迎えてくれます。断崖の上には社が立ち、この地で浦島太郎が玉手箱を開けたという言い伝えが残っています。断崖の上に立ち、端から川面を眺めるとお尻がゾクゾク。自然が創り出す見事な景観と川のせせらぎ、風の音が心を豊かにしてくれます。今まで、走り抜けてきた風景に、10年越しに出会うことができました。目的地まで急ぐより、寄り道をすると人生が豊かになりました。



（中村 隆）

シリーズ 拠点報告 ① ～発達サポートYMCAつるさと～

「世界の事、自分の事」

新学期、子どもたちは不安や期待の気持ちが入り混じる中、周りに支えられながら少しずつ生きていくスキルを身に着け順応していきます。子どもたち自身の中にもともと備わっている成長する力をとても感じることができる時期でもあります。

一方で、世界では感染症や戦争など国際的な緊張が高まっています。発達サポートYMCAつるさとでは、子どもたちが新しい学年生活に慣れ始めた5月、国際情勢を通して自分たちの振る舞いを見つめ直すプログラムを週1回実施しました。

「最近の世界のニュースを知ってる人？」という質問に、「戦争している国がある」など、子どもたちになりに大変なことが起きていることを感じているようでした。プログラムでは、隣の国で起きている話をペープサートなどで説明し、その後グループごとに各国の気持ちを考え、発表の場を設けました。また、身近な友だちや家族とケンカになり言葉や暴力で傷つけてしまったことはないか、そんなときどうしたらいいか、そうならないための解決策はないかを話合いました。

同時に、YMCAが取り組んでいる「ウクライナ避難者支援募金」についての活動内容を子どもたちに伝えることで、世界平和の願いを共有することができる年度初めとなりました。

（浅野 由梨佳）

維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員（2022年4月27日～2022年5月26日）

（継続）

岡本　栄世　鈴木誠一郎　加藤　久雄
塩田　　保　加藤　　渡　磯部　裕幸
磯部真知子　渡辺　真悟　浦田　健治

（新入）

足立　智美　小浦　佑真　鳥山絵梨乃
渡辺　晶子

（再入）

原田　和実

名古屋YMCA120周年記念募金

坂口　功祐

ワイズコーナー 6月例会の予定

名古屋	6月14日(火) 19：00～	協議「次年度に向けて」	名古屋YMCA (ZOOM併用)
名古屋東海	6月9日(木) 18：45～	卓話 「恩師との不思議な縁」 講師 山本 直子さん	ラ・スース
名古屋南山	6月9日(木) 19：00～	次年度準備会	南山YMCA
名古屋 グランパス	6月2日(木) 20：00～	未定	オンライン (ZOOM)例会

早天祈祷会　日時　6月7日(火)　7：45～8：30　会場　名古屋YMCA　5Fチャペル

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021
かりやYMCA保育園	0566-62-8227

https://nagoyaymca.org

名古屋YMCA使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2022年度聖句

「主に望みをおく人は新たな力を得　鷲のように翼を張って上る。」
（イザヤ書40章31節）